

# 桜守 (広報誌第1号)

## 財団法人 吉野山 保勝会

### 福井会長と藤井理事長のご挨拶



会長 福井良盟

現在、国・奈良県をはじめ多数の皆様のご努力により、「紀伊半島の霊場と参詣道」の世界遺産への登録の準備が着々と進められている。このことは、吉野山保勝会としても大変喜ばしいことであり、関係各機関をはじめとして、これに関わっていただいている皆さまに心から感謝を申し上げたい。ところで、世界遺産は人類の英知の昇華であり、登録された暁には、これを未来の人々に正しく伝える責務の一翼を私たちが担わなければならない。いうまでもないことだが、「紀伊半島の霊場と参詣道」は、一朝一夕で形成された歴史的景観ではない。遙かなる昔から幾多の人々が営々と築きあげてきた文化の集積と云ってよい。こうした地に暮らしていることを私たちは誇りに思っている。しかし、私たちは、いにしへの文化のみに身をゆだねているだけの生活に甘んじてはならないだろう。いにしえ人の文化を世界遺産として守り伝えながらも、私たち独自の吉野の文化を育んでいかなければならない。吉野の文化は、余りにも身近であり、人類史の一コマに数えられるような高尚なものではないかもしれない。しかし、私たちは、「紀伊半島の霊場と参詣道」を誇りに思うのと同じように、自らの文化に誇りをもって暮らしていきたい。その文化が如何なるものであれ、それを変えてゆくのも、守るのもやはり私たち自身か、私たちの子孫たちでなくてはならない。その責任感を自覚してはじめて世界遺産を伝えてゆく知恵と力が生まれるのだと思う。



理事長 藤井泰育

大正5年 先人達が設立してくれました、この歴史ある財団法人吉野山保勝会。先人達が設立から今日に至るまで多くの方々のお借りし、守り続けて桜のブランドとしての吉野山を築いてくれました。先人達の意志を継ぐべく、私達理事20名、監事2名が必死に今、頑張っている所でございます。10年前、ナラタケ菌による桜の衰退が県の調査で報告され、又平成10年9月の台風7号では樹齢70年～100年の古木の桜が大きな打撃を受けました。しかしその都度、桜を愛して下さる多くの方々や行政の力でその難局を乗り越えてまいりました。桜の成長にあまり適さない50haのこの吉野山の地で、桜の名所吉野山を伝えていくには、下草刈り・枯損木・つた切り・うめの木苔の除去・施肥の実施・桜の苗木の育成・桜の植栽等、莫大な費用がかかります。県・町・行政の支援、地元区民、地元観光業者等の寄付金・賛助会・桜トラスト等幅広い方々のご支援、ご協力を頂かねばなりません。保勝会は新しい土地に桜を植栽して新しい桜山を造り、もっともっとスケールアップした桜の吉野山を後世に伝えていく事が私達の責任だと考えております。どうか保勝会にご理解頂き、ご支援、ご協力を頂きます様お願い申し上げます。

### 桜苗木畑の開拓 (平成15年2月6日)

保勝会が、吉野山の苗木を独自で栽培する、畑を開拓いたしました。開拓した畑はもともと松の根が一面に張っていて、非常に堅く耕すのに丸一日かかりました。当日、寒い中理事全員で、畑を耕し吉野山の桜の種から育てた苗木1,000本と吉野山の桜の種を植えました。



## 賛助会会員募集中

財団法人 吉野山保勝会 〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430

TEL:07463-2-1877 FAX:07463-2-1217 E-mail hoshokai@iris.ocn.ne.jp

URL: <http://www.yoshino.ne.jp/yoshinoyama/>

